栗山で輝くヒト・モノ・コトをクローズアップ

食事処名取屋

たす存在でした。

ホルモン鍋

食堂として炭鉱夫の の向かいにお店を構え、

お腹を満

大衆

ホルモン鍋

歴史とお客様が紡いだ栗山のソウルフー

場所に店を移しました。

なったホルモン鍋お客様が選び続けて名物と

の人口が急減。翌年、

現 在

0)

一岐駅も廃駅となり日出地区

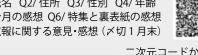
◎熱々の味噌スープに豆腐、ネギ、卵、そして豚モツがふんだんに入ったホルモン鍋は、炭鉱夫を始めとした多くの町民の舌を鳴らし愛されてきた一品

らない味とお客様の愛着によ ます」という言葉が返ります。 鍋を注文してくれた積み重ね 聞くと「私たちは『ホルモン鍋 で名物になった、 を名物にする』という考えは 残り続けているホル の 時代の変化の中でも、 ホルモン鍋は、 3代目の伊藤広美さんに 名物料理へと成長しま お客様たちがホルモン いつし と考えてい か

広報アンケートにご協力お願いします

広報1月号の感想をお待ちしています。お答えいただいた方から抽選で「名取屋ホルモン鍋定食(トッピ ング付)食事券・一食分」を3名様にプレゼントします。

Q1/氏名 Q2/住所 Q3/性別 Q4/年齢 Q5/ 今月の感想 Q6/ 特集と裏表紙の感想 Q7/ 広報に関する意見・感想 (メ切1月末)





二次元コードから回答ください(応募は1人1回。ハガキの場合は役場へ郵送)。結果は発送をもってませていただきまり、 (2月発送予定)

試行錯誤を続けています。 鍋を守りたいという想い お客様と共に紡いだホルモン 鍋を食べてもらいたい、 もっと多くの人に ホルモン 店と

追加し、 つつも、 になりました。 昨年からキム トッピングメニュ 変化を楽しめるよう 唯一無二の味を守り チやニラ 1 を

すぎなかったようです。

数あるメニューの一 現在のような名物ではな

つに

角田炭坑の閉山に伴い、

新



して52年目。

移転前は大正15

年に現在の地

頃に新二岐駅(旧夕張鉄道)

鉱夫の胃袋を支えたホルモン鍋の黎明期

は

炭

伊藤さんは、2代目のお父さんと共に3代目として375 している

[印刷]山東印刷株式会社 [ホームページ] https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/ [メール] kouhoubousaijouhou-g@town.kuriyama.hokkaido.jp [発行]栗山町 [編集]総務課/教育委員会 〒 069-1512 北海道夕張郡栗山町松風 3 丁目 252 番地 [ホームページ] https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/ 🕿 0123-72-1111 FAX 0123-72-3179

